

製品名: ALIX ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21609**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:96kD;Observed MW:96kD

抗原情報

遺伝子名	PDCD6IP
別名	Programmed cell death 6-interacting protein;PDCD6-interacting protein;ALG-2-interacting protein 1;Hp95;
遺伝子 ID	10015.0
SwissProt ID	Q8WUM4
免疫原	ヒト ALIX の組み換えタンパク質

背景

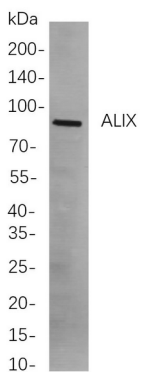
細胞局在: 細胞質。この遺伝子は、細胞質分裂の離解段階、管腔内エンドソーム小胞形成、およびエンベロープウイルスの出芽にお

いて、ESCRT 経路内で機能するタンパク質をコードする。マウス細胞を用いた研究では、このタンパク質の過剰発現がアポトーシスを阻害することが示されている。さらに、この遺伝子産物は、アポトーシスに必要なタンパク質である PDCD6 遺伝子産物とカルシウム依存的に結合する。この遺伝子産物は、エンドサイトーシス中に膜形状を制御するタンパク質であるエンドフィリンにも結合する。この遺伝子産物とエンドフィリンの過剰発現は細胞質の空胞化を引き起こし、これが細胞死に対する防御に部分的に関与している可能性がある。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが見つかっている。関連する偽遺伝子は 15 番染色体上に同定されている。[RefSeq 提供、2012 年 1 月]

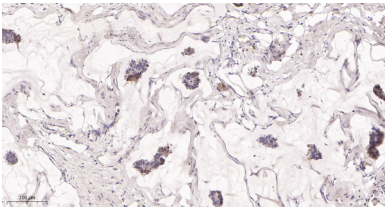
研究分野

-

画像データ



ALIX Rabbit mAb を用いた Hela 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。



パラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学分析。1、ALIX ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を活性化 (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。